

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	0	・各種マニュアルを作成するとともに保護者に周知するため、いつでも閲覧できるよう、玄関ホールに掲示している。 ・避難訓練を毎月実施しており、クラスたよりなどで、保護者にも周知している。	・各種マニュアルについては、周知率は上がったが、内容の理解は不十分と思われる。今後も内容については伝える機会があればと考える。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	・月1回の定期避難訓練(火災訓練または地震訓練)、年2回の総合避難訓練(消防署への通報を含む)を行っている。	・今後も継続する。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	0	・入園時に、児の状況、予防接種アンケートを保護者に記入してもらい把握。さらに必要であれば、発作時の対応マニュアルを作成したり、医師による服薬指示書の提出を依頼している。情報は全職員で共有している。	・緊急時にすぐに判断や対応できるよう、日頃より児の健康状態の把握を行う必要がある。・発作が起こった児に対しての基本的な対応は、全職員で共有するように報告等を行ったが、実際に適切な対応を全員ができるわけではないので、対応の仕方等を学びあうことが大切と考える。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	・食物アレルギーがある場合、医師の指示書をもとにアレルギー除去食を提供している。また、配膳の間違いや同室内で他児の食事が混入がないよう細心の注意を払っている。	・今後も継続。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	2	・ヒヤリハット事例集は作成しているが、全ての職員に共有化されていない部分もある。	・ヒヤリハットの研修を年度初めに毎年行い、再度共有化を図ることが必要と思われる。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	・接遇や虐待防止および権利擁護研修等を行い、周知を行っている。 ・児への対応等で不適切と思われる場面があればお互いに声をかけたり、その場で改善を促している。	・今後も継続する。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	3	・重要事項説明書や契約書には明記して入園時に保護者に説明を行っている。しかし、左記に記載されているような対応は今のところ組織化していない。マニュアル化も未実施。	・引き続き、組織的な決定や保護者への伝え方などをマニュアル化することが必要と考える。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センターまたは児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。